

平成20年1月30日 自治会長会 質疑応答及び結果

1 自治会役員の選出について（敬称略）

会 長 山根和夫（原）

副会長 小矢野昭彦（松神）、森本泰人（大谷）

評議員 齋尾正憲（国坂）、瀨本 弘（駅前）、林 邦臣（みどり一区）

種子至剛（西園）、津川俊仁（東亀谷）、山崎弘巳（妻波）

2 会の運営は自治会長が行い、招集通知も自治会長、町長の連名で行う。

3 町からの振込みが北栄町会計となっているため、内容がわからない。分かるように記載できないか。

昨年も意見があったが、記載はできない。1月～11月末までの振込み内容を自治会長に送付している。また、問い合わせただければ、回答するようにしている。20年分については、平成19年12月～平成20年11月分までを、12月に入ったらすぐに通知する予定にしている。

4 震災用のハザードマップの作成は。

今後、作成する予定である。

5 ハザードマップが見にくいので、集落ごとにはできないか。

逃げる場所を示すのに、集落ごとにはできない。今日の資料は縮小して提出しているが、実物はA1サイズであり、見やすくなっている。

6 人間ドックの結果が8月下旬のものが11月に届いた。1ヶ月以内に回答をいただきたい。

調査をして回答したい。また、医療機関にも通知を早くしていただくよう要望する。

7 食の支援事業で、現在、材料を買い、その請求書を町に出し、町が支払いを行っている。事前に食材の単価の安い時期に買っておいたり、何箇所かの店で買ったりしたいので、立て替えておいて領収書を町に出し、支払いをしていただく方法にできないか。その方が有効に使えると考える。

検討する。

8 大栄地区のバレーボール大会が12月に開催される。12月は自治会の決算総会の時期でもあり、近年参加チームも少なくなっている。開催時期を検討してほしい。

大栄スポーツクラブに伝え、検討をする。

9 道路特定財源のチラシは、どこから出ているのか。また、財源が必要なのは理解できるが、今の段階で行政が動くのにも疑問がある。自治会としても、中立の立場でいたいと思うので、国の動向を静観すべきではないか。

県の指導はあったが、各市町村の責任で出している。行政として出すべきかどうかの議論も重ねている。中部では、全町が出している。廃止により、町にもかなりの影響がある。協力をお願いしたい。(最終的な判断は、自治会に任せる。)

10 倉吉市は災害用に高齢者などに毛布、電池等を配布している。北栄町でも実施できないか。

倉吉市の状況を把握し検討したいが、現在自治会に補助金を出している中で、その中で対応していただきたい。